



# 学校だより

第8号ジャカルタ日本人学校  
令和4年(2022年)11月30日  
校長 緒方克行

末子配付

TEL: 021-745-4130

## めざす子ども像

先日行われました、親子ふれあいミニ運動会や立志式にご来校いただきましてありがとうございました。

親子ふれあいミニ運動会では、保護者の皆さまと子どもたちが共に夢中になり、笑顔で楽しい時間を過ごすことができました。PTAの学年部の皆さまに準備を綿密に進めていただき大変有意義な行事となりました。

また、立志式では中学3年生が自分の思いや将来への夢を、自らが選んだ漢字一文字に込めて発表しました。ある子どもの発表の中に「なりたい自分に近づきたい」とありました。本校ではキャリア教育に取り組み、大使館や企業など社会に繋がる方々をお招きして、仕事の内容や取り組む姿勢などを子どもたちに話していただいています。将来の「なりたい自分像」をもち、それに向かって躍進していくことを望みます。

さて、子どもたちを囲む大人たちも、育てたい子ども像を明らかにし、その姿の実現を目指して日々の教育活動に取り組んでいきたいと思えます。

本校の学校教育目標には「めざす子ども像」として、『よく考える子』『思いやりのある子』『体をきたえる子』『世界に心をひらく子』と既に提示されていますが、より具体的な姿で共有することを考えています。そのために学校に、社会(大使館・維持会理事企業)、保護者(PTA本部役員)の方々と、幼稚部・小学部・中学部の全教職員が集い、JJSに通う子どもたちの強みと弱みを出し合い、どんな力を育み、どんな子ども像を目指していくのかをワークショップ形式で考える場を設けます。大使館や企業の方々からは、社会で求められている人物像について、保護者の方々からは、家庭での子どもたちの様子を見ながらこんな子どもに育ててほしいという思い、そして、教職員からは日々接している子どもたちから特性をつかみ発達の段階に則しためざす姿について、それぞれの立場で語り合っていきたいと思えます。そこから、めざす子ども像が浮かび上がってくるのではないかと考えています。

具体的には例えば、JJSの子どもたちは強み、つまり良いところ、優れたところをたくさんもっています。編入生とすぐに友達になれるという、コミュニケーション力を兼ね備えている子どもが大勢います。この能力は大切にこれから伸ばし、どの国の人たちとも心を通じ合うことのできる子ども像をめざしたい、というようにワークショップを展開していきます。

ワークショップから浮かび上がってきた子ども像については、後日皆さまへ、ご報告いたします。そして、学校説明会や懇談会等で話題にあげいただき、皆さんと一緒にめざす子ども像について考えていきたいと思えます。